

第3章 計画の目標

1 情報化の基本理念

本計画は、ビジョンが示す新しい成熟都市をめざして、情報化の面から取り組むべき事項を掲げるものです。

計画の策定にあたり、情報化の基本理念として、次のとおり定めました。

**ICT を活用した
区民生活の質の向上と
効率的な区政運営の推進**

2 目標

前項で定めた情報化の基本理念を踏まえて、本計画では次の3つの目標を設定します。

目標1：ICT やマイナンバー制度を活用したきめ細かな区民サービスの実現

ICT を積極的に活用することで、区民生活の利便性の向上、区民サービスの質の向上を図ります。また、区民一人ひとりのニーズに対応したサービス情報のわかりやすい提供・発信や、区民と区との双方向のやり取りを実現し、区政への区民参加や協働を推進します。

この他、マイナンバー制度の導入に伴い、手続きにおける添付書類の削減や手続きの簡便化など区民サービスの向上を図るとともに、行政運営の効率化を進めます。

目標2：情報化による区民の安全・安心を支える体制の強化

災害に強い情報システムの運用環境を整備し、災害発生時に迅速に対応できるように、情報システムの運用継続計画を策定します。また、災害時において、被害の拡大を防ぎ、区民の安全・安心を確保するため、情報連絡手段をさらに充実させるとともに、その実効性を高めます。

さらに、マイナンバーをはじめとする個人情報の保護に万全を期するため、これまで以上に区における情報セキュリティ対策を強化・徹底します。

目標3：情報システムの効率化・高度化のさらなる推進

平成25年に策定した「情報システムの効率化、高度化に向けた取組指針」にしたがって、共通基盤への情報システムの集約を進め、当該情報システムに係る経費の2割削減、事業継続性やデータの安全性の向上、システム調達における競争性の向上および管理運用業務の効率化を図ります。

また、共通基盤への集約の対象とならない情報システムについても、クラウドサービスへの移行など、ICTを活用した情報システムの全庁的な見直しにより、さらなるシステムの高度化と効率的な運用を図ります。あわせて、情報システムの運用に係る業務の集約などにより、経費のさらなる削減を実現します。

3 評価指標

(1) 評価指標の考え方

本計画では、成果が目に見えるわかりやすい情報化を推進していくために、評価指標を設定します。具体的には、本計画全体の達成度を表すものとして、「数値で継続的に測定できるもの」、「3つの目標において代表的な指標となるもの」という観点から設定することとしました。

なお、これらの評価指標は本計画の達成状況を評価するための指標の一つであり、本計画推進における過程等についても十分に分析を行ったうえで、総合的に本計画の達成度を評価することとします。

(2) 評価指標の設定

評価指標については、計画目標に合わせて、次のとおり設定します。

図表21. 本計画における評価指標の設定

	指標名	説明	現状値	目標値
指標1	情報化推進の区民満足度	区民向けの満足度調査における、情報提供サービスに満足している割合(注1)	70.1% (平成26年度)	現状値以上 (平成31年度)
		区民向けの満足度調査における、オンラインサービスについて満足している割合(注1)	63.6% (平成26年度)	現状値以上 (平成31年度)
指標2	データセンター利用率	民間のデータセンターにサーバを設置しているシステムの割合(注2)	65.2% (平成28年度)	90.0% (平成31年度)
指標3	情報システム経費の削減率(注3)	共通基盤に移行する情報システムに係る経費の削減率	約17億5千万円 (平成25年度決算) (注4)	2割削減 (平成30年度決算) (注5)
		クラウドサービスを利用する情報システムに係る経費の削減率(注6)	約9億7千万円 (平成25年度決算) (注7)	2割削減 (平成30年度決算)
		上記以外の情報システムに係る経費	約4億4千万円 (平成25年度決算) (注8)	現状値以下 (平成30年度決算)

注1 満足・やや満足と回答した率。

注2 情報システム区分1を対象とする。

注3 平成25年度に既に稼働していた情報システムのランニングコストの削減率。ただし、平成26年度以降に新たに導入する情報システムおよび平成28年4月時点で廃棄済みの情報システムは含まない。

注4 共通基盤移行予定システムの平成25年度の決算額の合計。移行対象システムの増減等により、変

動する場合がある。

注5 共通基盤に係る経費〔ハードウェア経費、ソフトウェア経費、ネットワーク回線経費、仮想サーバ運用・保守経費等〕も含む。

注6 平成26年度以降にクラウドサービス（共通基盤は除く。）に移行する情報システムを対象とする。

注7 平成26年度以降にクラウドサービス（共通基盤は除く。）へ移行予定の情報システムの平成25年度の決算額の合計。移行する情報システムの増減等により、変動する場合がある。

注8 平成25年度決算における区の情報システム全体のランニングコストの合計から注4・7の金額を引いた額。

4 計画の施策体系

3つの目標を達成するための施策体系は、次のとおりです。

図表2.2. 本計画の施策体系

目標1：ICT やマイナンバー制度を活用したきめ細かな区民サービスの実現		
	(1) ICT の活用による区民生活の利便性の向上と区民サービスの質の向上	
	無料公衆無線 LAN の整備	
	クレジットカード納付など新たな納付方法の導入	
	より利用しやすく効率的な公共施設予約システムの構築	
	利便性の高い窓口サービスの実現	
	健康づくりの推進に向けた ICT の利活用	
	学校教育における ICT 利活用の推進	
	オープンデータの推進	
	ICT を活用した区政改革のための検討と人材の育成	
	(2) 区民一人ひとりのニーズにあわせた情報提供の充実と情報受発信の強化	
	子育て情報等に関する個人向け情報提供の充実	
	高齢者や障害者等が安心して生活できる環境づくりのための情報提供の充実	
	学習・文化活動や地域活動の活性化に向けた情報提供の充実	
	区民との協働による課題解決のためのシステムの導入	
	練馬区の魅力発信の強化と区政情報の提供手段の充実	
	練馬区公式ホームページのリニューアル	
	区役所代表電話および区ホームページ「よくある質問と回答」の充実	
	(3) マイナンバー制度導入による区民サービスの向上および行政運営の効率化の実現	
	マイナンバーカードを活用した各種証明書のコンビニ交付サービスの導入	
	マイナンバー制度の活用に向けた取組の検討	
	マイナンバー制度導入に伴う情報システムの改修・構築	
	目標2：情報化による区民の安全・安心を支える体制の強化	
		(1) 災害時における迅速かつ的確な対応体制の整備
		情報システムの運用継続計画（ICT-BCP）の策定
		迅速かつ的確な対応のための情報の整備および共有
		(2) 災害時等における円滑な情報収集・提供手法の確立
		⑳ 災害時における情報連絡手段のさらなる充実
		㉑ 感染症の流行状況の円滑な情報共有
(3) 確実な情報セキュリティ対策の実施		
㉒ 情報システムにおけるセキュリティ対策の強化		
㉓ 情報セキュリティポリシーの見直しと実効性の強化		
㉔ 特定個人情報の適切な管理・運用		
目標3：情報システムの効率化・高度化のさらなる推進		
		(1) 全庁における情報システムの効率化・高度化
	㉕ 情報システムのクラウド化のさらなる推進	
	㉖ 情報システムにおけるネットワークの最適化	
	㉗ 情報システムの調達および運用におけるマネジメントサイクルの強化	
	(2) 業務改善や政策形成のための ICT の活用	
	㉘ 業務集約化による経費節減と業務効率化の推進	
	㉙ 業務改善のための職員証の IC カード化の検討	
	㉚ 政策形成のためのデータの分析・活用	